



## 学生ならではの視点と行動力で地域課題を解決

### ～平成 28 年度は 8 件の地域貢献活動支援事業をスタート～

横浜市立大学の学生が地域課題解決に向けて、今年度は、新規事業 1 件を含む全 8 件の活動に取り組みます。「学生が取り組む地域貢献活動支援事業」は、「学部・大学院生活、課外活動などで取り組む地域に貢献する研究や活動により、学生が自主的な探求心、コミュニケーション力、積極的な行動力、チャレンジ精神を養うこと」を支援する助成金事業です。平成 23 年度から開始し、平成 25 年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」※1への採択をきっかけに、学生のボランティア活動支援とともに、一層の推進を図っている事業です。

平成 28 年度は審査の結果、継続 7 団体と新規 1 団体の事業への助成金交付が決定しました。多くの学生が、地域での活動に、学生ならではの視点と行動力で取り組んでいきます。

#### 〈平成 28 年度学生が取り組む地域貢献活動支援事業一覧〉

	団体名	事業名
<b>■自由提案型／神奈川県域内における地域交流・地域研究に関する事業や、自治体への政策提案に資する事業</b>		
1	【新規】Pismo 有限責任事業組合 国際総合科学部有志の学生を中心とした 3 名	金沢区活性化プロジェクト ～ポータルサイト金沢区情報発信 & 福祉施設でのイベント開催事業～
2	鈴木・国吉ゼミ 国際総合科学部まちづくりコースの学生 5 名	地域情報化と魅力発信によるまちへの関心向上と定期的な地域交流の場の創出
3	金沢研究会 国際総合科学部まちづくりコースの学生 5 名	金沢区に対する地域資源を活かしたまちづくりと研究調査活動
4	看護学科いのちの授業グループ 医学部看護学科の学生 17 名	いのちの授業訪問事業
5	科学倶楽部 国際総合科学部有志の学生 13 名	地域学生のための科学実験講座
6	まちづくりコース三輪ゼミ 国際総合科学部まちづくりコースの学生 15 名	まちこどもプロジェクト ～子どもの成長段階に応じた地域参画の方法実践～
7	YDC 医学部医学・看護学科有志の学生 43 名	医学生・看護学生が創る『医療』教育
<b>■課題提示型／大学サテライト拠点「並木ラボ」等の活用法や、学生のボランティア活動参加を促す仕組みを提案する事業</b>		
8	ボランティア支援室学生スタッフ 国際総合科学部有志の学生 13 名	市大生に向けたボランティア意識意欲向上及び参加のきっかけづくり事業

学生の活動の様子は、横浜市立大学の WEB サイト※2で随時公開します。また、本事業の成果は、来年 2 月頃  
に開催する成果発表会（一般公開）で報告する予定です。

※1 文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（大学 COC 事業）」… 平成 27 年度より事業名称変更

自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指す文部科学省の事業で、横浜市立大学「環境未来都市構想推進を目的とした地域人材開発・拠点づくり事業」は平成 25 年度 319 件の申請の中から採択された 52 件のうちのひとつです。

※2 横浜市立大学 WEB サイト→公開講座・地域貢献→地域貢献センター→学生が取り組む地域貢献活動支援事業  
[http://www.yokohama-cu.ac.jp/lc\\_center/student/support/gakuseichiki\\_h28/saitaku\\_list.html](http://www.yokohama-cu.ac.jp/lc_center/student/support/gakuseichiki_h28/saitaku_list.html)

## 〈参考〉平成 28 年度学生が取り組む地域貢献活動支援事業の紹介

### 1. 金沢区活性化プロジェクト

～ポータルサイト金沢区情報発信 & 福祉施設でのイベント開催事業～



金沢区が他区に比べ、世帯数に対し消費額が少ない点に着目し、地域密着型のポータルサイトに金沢区の魅力的な情報を掲載し、区民に改めて金沢区の良さを知ってもらう。

また、福祉施設を訪問し、アカペラや合唱のコンサート等を通じて施設利用者と大学生のふれあいの場を提供する。

### 3. 金沢区に対する地域資源を活かしたまちづくりと研究調査活動



金沢区の歴史的資源の認識向上を狙うとともに、金沢区の地産地消の促進や地元住民の交流を目的とした「瀬戸マルシェ」を開催する。

また、関東学院大学と連携し、金沢八景駅前の「はちのば」を利用したイベント運営を通して金沢区の魅力発信と、金沢区の夜景とイルミネーションの融合プロジェクト「瀬戸あかり」を開催する。

### 2. 地域情報化と魅力発信によるまちへの関心向上と定期的な地域交流の場の創出



黄金町周辺地区の「安心・安全」なまちというイメージを定着させるため、健康や防犯・防災、アートなどをテーマとした住民参加型のイベント「はつこひひろば」を毎月開催し地元住民の交流を促す。

また SNS や WEB 上で地元商店のマルシェイベントである「はつこひ市場」の広報活動及び情報発信を行う。

### 4. いのちの授業訪問事業



看護学生が横浜市内の小学校に出向き、「いのちの大切さ」を伝える。

いのちの誕生に対する理解を深め、これまでの成長の過程における、周囲の人からの支援等を学べる授業を実施する。生命誕生のプロセスや赤ちゃん模型を用いた抱っこや沐浴などの体験を通し、命について自分の問題としてとらえ、自分自身を大切にし他者も大切であるという事を学んでもらう。

## 5. 地域学生のための科学実験講座



地域に住む中学生を対象とした科学実験講座を開催し、学校の授業にはない実験の提供を行い、科学への理解を深める。

ほかにも生活保護を受ける家庭などを学習面でサポートする地区センターなどに赴き、出張型科学講座を実施。長期休みを利用した自由研究活動の相談も受け付ける。

## 7. 医学生・看護学生が創る『医療』教育



小中学生を対象に、医療の仕組みを教える授業を実施する。医療の適正利用を広めることで、医療機関を選択する力を養い、不適切な救急車利用の抑制や、かかりつけ医の普及などに貢献する。

保健体育や理科の授業との関連付け、季節や学校行事と関連した授業を実施することで、人体や疾病への理解を促す。平成28年度は計6校で実施予定。

## 6. まちこどもプロジェクト

～子どもの成長段階に応じた地域参画の方法実践～



まちづくりの次の担い手である子どもたちに注目し、まちへの帰属意識を高めるため、金沢シーサイドタウンを活用した、子どものためのイベントやワークショップを開催する。

青葉区では保育園のおさんぽマップを活用した地域資源の情報提供を行う。子どもを巻き込むことで親や祖父母への波及効果を狙う。

## 8. 市大生に向けたボランティア意識意欲向上及び参加のきっかけづくり事業



横浜市大の学生を対象に、防災や国際をテーマとしたワークショップ等の勉強会の開催やSNS・広報誌による情報発信を行う。

また、浜大祭を利用した地域の方との交流等により、学生のボランティア参加を促し、ボランティアに対する固いイメージの払拭を狙う。これらの活動を通して、学生が社会貢献に積極的に参加できる仕組みを構築する。